

平成27年度第1回高知県入札・契約監視委員会 議事概要

開催日時	平成27年8月14日（金）午前10時から正午まで
開催場所	高知県高知市丸ノ内二丁目1番10号 高知城ホール 2階 中会議室
出席委員	<p>甫喜本委員長          稲田副委員長          坂田委員          村瀬委員          山本委員          渡邊委員</p>
議 題	<p>1 開会          土木部長挨拶</p> <p>2 議事          (1) 入札・契約制度の運用状況について          (2) 抽出事案の審議          ・安芸漁港災害復旧工事          ・県道夜須物部線他4線道路維持委託業務          ・鏡川河川改修工事          ・狩山川地域の安全安心推進工事          ・国道197号防災・安全交付金工事          ・蜷川河川災害復旧工事</p> <p>3 その他          次回開催について          抽出委員選定について</p> <p>4 閉会</p>

意見・質問	回答
<p>〈抽出事案の審議〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸漁港災害復旧工事について、初めから入札参加者が1者となることを想定していたのか。</li>   <li>・狩山川地域の安全安心推進工事について、水生生物や自然環境の復元を目的としていると思われるが、この工事の効果は表れているのか。</li>   <li>・狩山川地域の安全安心推進工事について、入札結果は指名した8者中6者が辞退し、残る2者でくじ引きが行われており、結果からは競争性が十分に働いていないように見える。業者の立場からすればくじを避けたいのではないかと思うが、競争性や工事の効果・効率を上げるために業者からの提案を受け入れて事業を実施する方法等が今後考えられないか。</li>   <li>・担い手確保について、地域の自然環境に慣れ親しみ、愛着を持っている方達の経験や知識のようなものがもっと事業に反映されるような仕組みにし、受注者、発注者及び地元住民と一緒に事業を行っていくようなことができれば、今後の建設産業の魅力の向上につながるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶の手配が必要な工事ではあるが、数社程度の参加はありと想定していた。応急復旧工事であり、早期発注を行う必要があったことから、発注の時期を選べなかったことも、参加者が1者になった要因の一つと考えられる。</li>   <li>・水生生物の評価はでてないが、今まで遡上していなかった鮎が遡上を始めるなどの地元の声は聞いている。</li>   <li>・プロポーザル方式により広く業者の提案を受けて発注を行う方法もあるが、一方では担い手確保のために地域の業者で施工可能なものは、できるだけ地域の業者に発注するという考え方もある。今回の工事の規模（請負対象金額約1,300万円）では、周辺地域の業者が受注機会を得られるような発注方法をとっている。</li>   <li>・建設産業の魅力については、建設業活性化プランでも入職促進の取り組みとしてメディアを使用した広報活動等への支援を行うこととしており、建設業界が地域を良くするために頑張っているということを知ってもらい、良いイメージを持っていただくことが担い手確保にもつながっていくと考えている。</li> </ul>

<全体を通しての意見・質問>

・設計書の事後公表等で業者の積算能力は上がっており、積算ソフトの性能も良くなっている。予定価格等の推定も業者によってはかなりの精度でできるようになっていると思われる。業者の積算能力が上がるということは、さらに落札者がくじで決まっていく傾向になるのではないか。

・くじが発生する入札は、請負対象金額が低いB、C等級の業者が参加する案件に多いのか。

・各社の受注意欲が高い場合などにはくじが発生することがあると考える。くじでは業者の施工能力や企業努力でなく、偶然で結果が決まってしまうことから、その対策はなかなか難しいが、課題の一つとして認識している。

・予定価格が事前公表となっている案件や、積算が比較的簡単な工事は入札金額が同額となることが多い傾向にあると考える。